



## 2024年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月13日

上場会社名 株式会社 きちりホールディングス  
コード番号 3082 URL <https://www.kichiri.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO兼COO (氏名) 平川 昌紀  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役CFO (氏名) 葛原 昭  
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 06-6262-3456

配当支払開始予定日 2024年3月1日

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年6月期第2四半期の連結業績(2023年7月1日～2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第2四半期	6,819	34.5	459		148		174	
2023年6月期第2四半期	5,068	58.6	145		205		160	

(注) 包括利益 2024年6月期第2四半期 172百万円 ( %) 2023年6月期第2四半期 177百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第2四半期	17.26	16.93
2023年6月期第2四半期	15.88	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第2四半期	8,023	768	8.4
2023年6月期	6,793	619	7.7

(参考) 自己資本 2024年6月期第2四半期 672百万円 2023年6月期 520百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期		2.50		2.50	5.00
2024年6月期		2.50			
2024年6月期(予想)				5.00	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2024年6月期の連結業績予想(2023年7月1日～2024年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,800	26.1	780		470		350		34.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年6月期2Q	10,550,400 株	2023年6月期	10,550,400 株
期末自己株式数	2024年6月期2Q	425,823 株	2023年6月期	425,823 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年6月期2Q	10,124,577 株	2023年6月期2Q	10,124,599 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による各種行動制限が緩和され、2023年5月8日に当該感染症が、感染症法上、2類相当から5類感染症へ分類変更されたことで、3年にわたる当該感染症による行動制限がなくなり、経済活動の正常化に向かう動きが鮮明となりました。一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や世界的な資源価格の高騰、円安による物価の上昇等により、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当飲食業界におきましても、新型コロナウイルス感染症への行動制限緩和による経済活動の正常化に伴い、個人消費意欲の高まりおよびインバウンド需要の回復を見せつつあります。一方で原材料費、光熱費等の高騰などにより外食業界をとりまく環境が大きく変化し、経営環境は厳しいものとなりましたが、当社グループは飲食事業において、以下のとおり新規3店舗をオープンいたしました。

いしがまやハンバーグ業態では、2023年12月、愛知県岡崎市の商業施設「イオンモール岡崎」内にて、「いしがまやハンバーグ イオンモール岡崎」、東京都国分寺市の商業施設「セレオ国分寺」内にて、「いしがまやハンバーグ セレオ国分寺」の2店舗をオープンいたしました。

VEGEGO業態では、2023年11月東京都西多摩郡日の出町の商業施設「イオンモール日の出」内にて、「VEGEGO オスレシクタン&cafeイオンモール日の出」をオープンいたしました。

このように、当社グループは、KICHIRI業態・いしがまやハンバーグ業態・VEGEGO業態等、あらゆる立地に対応した様々な業態を保有しており、トレンドを的確に捉える高い業態開発力を持っています。また、従業員一人ひとりが、当社グループの企業理念である「大好きがいっぱい」を表現し、当社グループ独自の“おもてなし”を提供することで競合他社との差別化を図ってまいります。

フランチャイズ事業については、ハンバーグ業態にて、西日本最大級の総合スーパーであるイズミが展開するショッピングセンター「ゆめタウン」への出店を行っております。

プラットフォームシェアリング事業については、当社がこれまで培ってきたプロデュース力やコンサルティング力を活かして多種多様な分野におけるブランドホルダーとのコラボレーションを実現することで新たな顧客価値を創造し、また人々の働き方やライフスタイルの変化から生まれる様々な課題を新しいテクノロジーによって解決するDXについても積極的に推進しております。このように事業を複数展開する中、プラットフォームシェアリング事業で培ったノウハウが、日本全体の活力向上を目指す地方創生に寄与できると考え、2023年4月より、地方創生事業を行っております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、6,819百万円（前年同期比34.5%増）、営業利益459百万円（前年同期は営業損失145百万円）、経常利益148百万円（前年同期は経常損失205百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益174百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失160百万円）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

#### （資産）

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は8,023百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,229百万円増加しております。

流動資産合計は4,815百万円となり、前連結会計年度末と比較して962百万円増加しております。増加の主な要因は、未収入金が1,088百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産合計は3,208百万円となり、前連結会計年度末と比較して267百万円増加しております。増加の主な要因は、有形固定資産が172百万円増加したこと等によるものであります。

#### （負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は7,255百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,081百万円増加しております。

流動負債合計は3,673百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,480百万円増加しております。増加の主な要因は未払金が1,264百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債合計は3,581百万円となり、前連結会計年度末と比較して398百万円減少しております。減少の主な要因は長期借入金が381百万円減少したこと等によるものであります。

#### （純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は768百万円となり、前連結会計年度末と比較して148百万円増加しております。増加の主な要因は、利益剰余金が149百万円増加したことによるものであります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期の業績結果および足元の業績動向を踏まえ、2024年6月期の連結業績予想を下記の通り修正しております。

## 1. 2024年6月期通期連結業績予想数値の修正（2023年7月1日～2024年6月30日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)	1株当たり当 期純利益 円 銭
前回発表予想（A）	13,500	500	470	200	19.75
今回発表予想（B）	13,800	780	470	350	34.56
増減額（B－A）	300	280	0	150	－
増減率（％）	2.2	56.0	0.0	75.0	－
（ご参考）前期実績 （2023年6月期）	10,941	△83	△274	△253	－

## 2. 業績予想修正の理由

2024年6月期第2四半期累計期間につきましては、新型コロナウイルス感染症への行動制限緩和による経済活動の正常化に伴い、個人消費意欲の高まりおよびインバウンド需要の回復もあり、来店客数は対前期比を上回って推移しており、既存店売上高は21ヶ月連続で対前年同月比を上回りました。また、原材料費や光熱費の高騰、人件費の上昇等の影響があるものの、販売価格の一部改定、徹底したコスト削減の取り組みやDX化の推進を行った結果、利益率が上昇いたしました。

第3四半期以降も堅調な来店客数推移を見込むとともに、徹底したコストコントロールを含めた各種施策により利益率が上昇する見通しであることから、当初予想を上回る見込みとなりました。一方で、2023年11月6日付「営業外費用及び法人税等調整額（損）の計上に関するお知らせ」および2023年12月19日付「営業外費用及び法人税等調整額（益）の計上に関するお知らせ」で公表いたしました当社連結子会社の株式会社KICHIRIが保有する暗号資産評価損および暗号資産売却損の計上により、連結経常利益は当初予想と同程度となる見込みです。尚、暗号資産については全ての売却が完了しております。

以上のことから、12月までの業績状況を踏まえまして、連結売上高13,800百万円、連結営業利益780百万円、および親会社株主に帰属する当期純利益350百万円へ上方修正いたします。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,458,259	2,248,919
売掛金	379,632	648,249
原材料及び貯蔵品	100,090	124,584
未収入金	93,200	1,181,476
その他	821,836	612,170
流動資産合計	3,853,020	4,815,401
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,230,453	1,363,197
その他（純額）	236,794	276,453
有形固定資産合計	1,467,248	1,639,650
無形固定資産		
のれん	51,110	44,110
その他	114,991	123,885
無形固定資産合計	166,101	167,995
投資その他の資産		
投資有価証券	117,412	117,412
差入保証金	851,751	884,347
繰延税金資産	333,420	391,597
その他	5,761	8,045
貸倒引当金	△766	△778
投資その他の資産合計	1,307,580	1,400,624
固定資産合計	2,940,929	3,208,271
資産合計	6,793,949	8,023,672
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	333,698	457,246
1年内返済予定の長期借入金	699,564	741,564
未払金	332,492	1,596,635
未払法人税等	46,449	58,744
株主優待引当金	17,451	22,708
その他	763,419	796,699
流動負債合計	2,193,075	3,673,598
固定負債		
長期借入金	3,753,591	3,372,309
資産除去債務	127,703	155,788
その他	99,642	53,898
固定負債合計	3,980,936	3,581,996
負債合計	6,174,011	7,255,594
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	381,530	381,530
資本剰余金	494,504	494,504
利益剰余金	△183,233	△33,828
自己株式	△170,218	△170,218
株主資本合計	522,582	671,987
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△1,822	158
その他の包括利益累計額合計	△1,822	158
新株予約権	34,754	35,710
非支配株主持分	64,424	60,221
純資産合計	619,938	768,077
負債純資産合計	6,793,949	8,023,672

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
売上高	5,068,504	6,819,470
売上原価	1,430,945	1,911,477
売上総利益	3,637,558	4,907,992
販売費及び一般管理費	3,782,745	4,448,256
営業利益又は営業損失(△)	△145,186	459,736
営業外収益		
受取利息	357	273
助成金収入	60,731	—
その他	4,655	2,563
営業外収益合計	65,744	2,837
営業外費用		
支払利息	10,644	9,161
暗号資産売却損	—	153,987
暗号資産評価損	105,624	133,111
支払手数料	740	1,420
その他	9,350	16,775
営業外費用合計	126,360	314,456
経常利益又は経常損失(△)	△205,802	148,117
特別利益		
新株予約権戻入益	47,515	—
助成金収入	12,432	—
特別利益合計	59,947	—
特別損失		
減損損失	—	2,139
特別損失合計	—	2,139
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△145,855	145,978
法人税、住民税及び事業税	19,718	50,658
法人税等調整額	11,112	△72,627
法人税等合計	30,831	△21,968
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△176,687	167,946
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△15,871	△6,769
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△160,815	174,716

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△176,687	167,946
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△748	4,547
その他の包括利益合計	△748	4,547
四半期包括利益	△177,435	172,494
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△162,745	176,697
非支配株主に係る四半期包括利益	△14,689	△4,203



## （3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2022年7月1日 至 2022年12月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2023年7月1日 至 2023年12月31日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△145,855	145,978
減価償却費	77,836	148,902
減損損失	—	2,139
のれん償却額	8,190	7,000
長期前払費用償却額	859	868
株式報酬費用	3,447	956
暗号資産売却損	—	153,987
暗号資産評価損	105,624	133,111
助成金収入	△73,163	—
新株予約権戻入益	△47,515	—
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△8	12
受取利息	△357	△273
支払利息	10,644	9,161
売上債権の増減額（△は増加）	△148,862	△268,557
棚卸資産の増減額（△は増加）	△18,252	△23,407
立替金の増減額（△は増加）	14,012	△83,202
仕入債務の増減額（△は減少）	84,279	122,921
未払金の増減額（△は減少）	48,626	1,131,507
未払費用の増減額（△は減少）	50,915	67,995
未収入金の増減額（△は増加）	26,563	△1,088,250
長期前受収益の増減額（△は減少）	△19,429	△31,810
預け金の増減額（△は増加）	△94,606	△43,697
その他	26,694	16,415
小計	△90,355	401,755
利息の受取額	357	273
利息の支払額	△6,930	△7,849
法人税等の支払額	△38,457	△37,497
助成金の受取額	214,369	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	78,984	356,682
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△311,734	△127,948
無形固定資産の取得による支出	△25,480	△30,480
投資有価証券の取得による支出	△20,000	—
資産除去債務の履行による支出	△3,338	—
差入保証金の差入による支出	△33,053	△51,752
差入保証金の回収による収入	595	6,528
長期前払費用の取得による支出	△2,340	△3,153
投資活動によるキャッシュ・フロー	△395,351	△206,806
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△335,949	△339,282
自己株式の取得による支出	△14	—
配当金の支払額	△50,333	△25,362
財務活動によるキャッシュ・フロー	△386,297	△364,644
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,636	5,428
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△697,027	△209,339
現金及び現金同等物の期首残高	3,561,364	2,458,259
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,864,337	2,248,919

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。